

# CA Agile Vision™ および CA Product Vision

統合ガイド

Winter 2012



このドキュメント(組み込みヘルプ システムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2011 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

## CA Agile Vision サポート

CA Agile Vision のお客様は、以下のタイプのサポートをご利用になれます。

### CA Agile Vision Team Edition サポート

ユーザの便宜を図るために、CA では自己管理型の [CA ユーザ コミュニティ](#) オンラインフォーラムを提供しています。ここで、CA CA Agile Vision に関する情報へのアクセス、質問ができ、また他のユーザと使用経験を共有できます。

電子メールまたは電話でのサポートはご利用できません。このコミュニティフォーラムで報告される問題が CA サポートによってモニタされるという保証はありません。

CA 製品のドキュメントに関してコメントまたは質問がある場合は、CA ユーザ コミュニティ オンラインフォーラムで質問やフィードバックを送ることができます。

### CA Agile Vision Enterprise Edition サポート

本製品を便利にお使いいただくために、CA はホーム オフィス、中小規模企業、および大規模企業向けの各製品に関して必要な情報にアクセスするためのサイトを提供します。<http://www.ca.com/jp/support> では、以下の情報にアクセスできます。

- 技術的サポートおよび顧客サービスを受けるためのオンラインおよび電話の連絡先情報
- ユーザ コミュニティとフォーラムに関する情報
- 製品とマニュアルのダウンロード
- CA サポートのポリシーとガイドライン
- お使いの製品に関するその他の有用な資料

#### フィードバック

CA 製品のマニュアルについてコメントまたはご質問があれば、[techpubs@ca.com](mailto:techpubs@ca.com) 宛てにメッセージをお送りください。

CA 製品のマニュアルについてフィードバックをお寄せいただく場合は、[Customer Survey](#) に必要な情報を入力してください。これは、CA のサポート Web サイト (<http://ca.com/docs>) からアクセス可能です。CA Agile Vision Enterprise Edition をお使いのお客様は、すべてのテクニカルサポートをご利用いただけます。詳細については、[CA テクニカル サポート](#)までお問合せください。

# 目次

---

<b>第 1 章: 概要</b>	<b>9</b>
サードパーティ統合について .....	9
CA Clarity PPM 統合 .....	10
<b>第 2 章: CA Clarity PPM と Agile Vision の統合</b>	<b>13</b>
統合について .....	13
CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM の統合方法 .....	15
CA Clarity PPM での CA Vision アドインのインストールおよび設定 .....	16
CA Clarity PPM から CA Agile Vision または CA Product Vision サンドボックス環境にアクセスするための URL を変更します .....	17
CA Clarity PPM での CA Vision アドインの設定 .....	18
CA Clarity PPM の設定 .....	19
CA Clarity PPM からデータ転送をセットアップする方法 .....	21
既存の CA Vision 製品およびリリースへのリンク .....	22
既存の CA Vision 製品内でのリリースの作成 .....	24
CA Clarity PPM からの新規プロジェクトおよびリリースの作成 .....	25
CA Agile Vision タスクタイプの CA Clarity PPM 請求コードへのマッピング .....	27
CA Clarity PPM タスクの CA Product Vision 要件へのリンク .....	29
CA Clarity PPM からの CA Product Vision 内のロールの更新 .....	30
Agile Vision プロジェクトの統合ステータスの確認 .....	31
ジョブ管理 .....	32
ジョブ サマリ .....	32
CA Vision 製品同期ジョブ .....	33
CA Agile Vision タイムシート同期ジョブ .....	34
CA Product Vision 要件とタスク マッピング同期ジョブ .....	35
CA Product Vision ロール同期ジョブ .....	35
<b>第 3 章: JIRA と CA Agile Vision の統合</b>	<b>37</b>
JIRA と Agile Vision の統合方法 .....	37
Agile Vision プラグインの JIRA へのインストール .....	38

---

wi12-BAPL--JIRA から CA Agile Vision または CA Product Vision サンドボックス環境にアクセスするための URL を変更します .....	38
JIRA 用の [Agile Vision 設定] の設定 .....	39
CA Agile Vision 問題同期サービス スケジュールの設定 .....	41
CA Agile Vision 問題同期サービスの即時実行 .....	42
CA Agile Vision リスナの設定 .....	43
JIRA プロジェクトの CA Agile Vision 製品へのマップ .....	44
JIRA 属性の CA Agile Vision 属性へのマップ .....	45
JIRA 属性値の CA Agile Vision 属性値へのマップ .....	47
CA Agile Vision の問題インポート条件の設定 .....	49
JIRA および CA Agile Vision 間の問題の同期 .....	50
JIRA と CA Agile Vision 間の問題の同期 .....	51
JIRA の CA Agile Vision との統合の無効化 .....	52

## 第 4 章: Quality Center と CA Agile Vision の統合 53

Quality Center と CA Agile Vision の統合方法 .....	53
Quality Center プラグインのセットアップの前提条件 .....	54
Quality Center プラグイン パッケージのインストール .....	54
CA Agile Vision 用の Quality Center プラグインの設定 .....	55
Quality Center から CA Agile Vision サンドボックス環境にアクセスするための URL を変更します .....	57
スケジュールされた Windows タスクとして実行するプラグインの設定 .....	58
Quality Center プラグインのサンプル設定ファイル .....	60
Quality Center テストケースの CA Agile Vision への統合 .....	61

## 付録 A: CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM フィールドのマッピング 63

プロジェクトのマッピング .....	63
リソースのマッピング .....	64
タスクのマッピング .....	66
タスク作業ログのマッピング .....	68

## 付録 B: サードパーティライセンス契約 71

Dojo Toolkit 1.3.1 .....	72
Ext JS - JavaScript Library .....	73

---

JSON 1.0 .....	74
jquery 1.3.2 .....	75





# 第 1 章：概要

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[サードパーティ統合について \(P. 9\)](#)

[CA Clarity PPM 統合 \(P. 10\)](#)

## サードパーティ統合について

CA Agile Vision および CA Product Vision を設定して CA Clarity PPM と統合できます。従来のプロジェクト管理プロセスに準じる一方で、Agile 環境で要件を作成および管理できます。

また、以下のサードパーティアドイン製品に CA Agile Vision を統合できます。

- JIRA。ユーザストーリーおよび問題を一箇所から管理します。各ユーザストーリーの問題に関するバックログおよびレポートで、問題を追跡します。
- HP Quality Center (Quality Center)。各ユーザストーリーから製品品質を直接追跡します。

**ベストプラクティス:** 各アドインで無効なセッションを防ぐには、以下の手順に従います。

- アドインごとに別々のシステム管理者アカウントまたはスーパーユーザアカウントを作成します。
- アドインごとに別の時間に同期ジョブを実行します。
- アドインごとに別々のシステム管理者アカウントを作成できない場合は、別の時間に同期ジョブを実行します。アカウントは重複させないでください。

## CA Clarity PPM 統合

CA Agile Vision および CA Product Vision は CA Clarity PPM プロジェクトと統合できます。CA Agile Vision Enterprise Edition および CA Product Vision のライセンスが必要です。この統合を使用して、製品オーナーは、従来のプロジェクト管理プロセスに準じる一方、Agile 環境で要件を作成および管理できます。

統合には以下の機能が含まれます。

- CA Clarity PPM から CA Agile Vision 製品およびユーザを作成、管理する。
- CA Product Vision 要件を CA Clarity PPM タスクに関連付ける。
- Agile のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクから CA Clarity PPM の WBS を作成する。
- CA Agile Vision タスク作業ログを使用して、CA Clarity PPM タイムシートに自動入力する。
- CA Product Vision で使用するロールを CA Clarity PPM からダウンロードする。
- CA Agile Vision、CA Product Vision、および CA Clarity PPM 間の情報を転送する同期ジョブを、事前に定義された間隔でバックグラウンドで実行する。

### 統合の前提条件

CA Clarity PPM を CA Agile Vision、CA Product Vision、あるいは CA Agile Vision と CA Product Vision の両方に統合するには、以下のライセンスが必要です。

CA Clarity PPM と統合する製品	CA Clarity PPM v12.0.6 または v12.1.0 にインストールされた アドイン	CA Agile Vision Enterprise Edition ライセンス	CA Product Vision ライセンス
CA Agile Vision	X	X	
CA Product Vision	X		X
CA Agile Vision および CA Product Vision	X	X	X

## 同期ジョブ

事前定義された間隔でバックグラウンドで実行され、CA Clarity PPM、CA Agile Vision、および CA Product Vision の間で情報を転送する、以下の同期ジョブが CA Clarity PPM で利用できます。

- **CA Vision 製品同期ジョブ。**このジョブはプロジェクトとリソースの情報を CA Clarity PPM から CA Agile Vision および CA Product Vision の両方に同期します。また、このジョブは、CA Agile Vision のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクを使用して、CA Clarity PPM 内にプロジェクトの WBS を作成します。
- **CA Agile Vision タイムシート同期ジョブ。**このジョブは CA Agile Vision のタスク作業ログを使用して、CA Clarity PPM の対応するリソースのタイムシートに自動入力します。
- **CA Product Vision 要件とタスク マッピング同期ジョブ。**このジョブは、関連するリリースの CA Product Vision 要件および CA Clarity PPM タスク情報を同期します。
- **CA Product Vision ロール同期ジョブ。**このジョブは CA Clarity PPM から CA Product Vision にロールをダウンロードします。



# 第 2 章: CA Clarity PPM と Agile Vision の統合

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[統合について \(P. 13\)](#)

[CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM の統合方法 \(P. 15\)](#)

[CA Clarity PPM からデータ転送をセットアップする方法 \(P. 21\)](#)

[Agile Vision プロジェクトの統合ステータスの確認 \(P. 31\)](#)

[ジョブ管理 \(P. 32\)](#)

## 統合について

このドキュメントで CA Vision と言うときは、CA Vision 製品ファミリー (CA Agile Vision または CA Product Vision) を意味しています。同じオブジェクトについて CA Clarity PPM および CA Agile Vision/CA Product Vision で使われる用語はわずかに異なります。CA Clarity PPM におけるプロジェクトは、CA Agile Vision および CA Product Vision におけるリリースを意味します。

情報を共有するには、事前に CA Clarity PPM プロジェクトを CA Vision に関連付けてセットアップを行います。関連付けが確立されると、CA Agile Vision または CA Product Vision の製品とリリースの詳細を指定するための CA Vision サブページが CA Clarity PPM で利用可能になります。

関連付けの行われた CA Clarity PPM プロジェクトを削除した場合、同じ CA Agile Vision または CA Product Vision リリースに別のプロジェクトをリンクすることはできません。新しい CA Clarity PPM プロジェクトを別のリリースにリンクし、新しくリンクしたリリースに詳細 (ユーザストーリー、タスク、または要件) を移動します。

統合が完了すると、CA Clarity PPM で実行されるジョブによって、CA Clarity PPM、CA Agile Vision、および CA Product Vision 内の情報が更新および同期されます。実行されるジョブは、更新される情報によって異なります。ジョブは定期的に実行されるように設定できます。必要に応じて CA Clarity PPM から手動で実行することもできます。統合のジョブの詳細については、「[ジョブ管理 \(P. 32\)](#)」を参照してください。

CA Clarity PPM、CA Agile Vision、および CA Product Vision の間で更新されるフィールドの全リストについては、「[CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM フィールドのマッピング \(P. 63\)](#)」を参照してください。

## CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM の統合方法

CA Clarity PPM を CA Agile Vision および CA Product Vision に統合するための高レベルのプロセスを以下に示します。CA Clarity PPM を CA Agile Vision、CA Product Vision、またはその両方に統合する場合でも、いずれも手順は同じです。

管理者:

1. [Agile Vision アドインをダウンロードし、抽出します。](#) (P. 16) アドインのダウンロードおよび抽出の詳細については、「CA Agile Vision 実装ガイド」を参照してください。
2. [CA Clarity PPM アプリケーション サービス\(app\) およびバックグラウンド サービス\(bg\)を停止します。](#) (P. 16)  
詳細については、「CA Clarity PPM インストール ガイド」を参照してください。
3. [CA Vision アドインのインストール](#) (P. 16)
4. [CA Vision アドインを設定し、Clarity app および bg サービスを再起動します。](#) (P. 18)  
詳細については、「CA Clarity PPM インストール ガイド」を参照してください。
5. アドインを適用します。  
詳細については、「CA Clarity PPM インストール ガイド」を参照してください。
6. [CA Clarity PPM を設定します](#) (P. 19)。

プロジェクト マネージャ:

1. [データ転送をセットアップします。](#) (P. 21)
2. [CA Clarity PPM で統合ステータスを確認します](#) (P. 31)。

## CA Clarity PPM での CA Vision アドインのインストールおよび設定

### アドインのダウンロードおよび抽出

[support.ca.com](http://support.ca.com) に移動し、お使いのコンピュータまたはアクセス可能なネットワーク上の場所に .iso イメージをダウンロードします。

次の手順に従ってください:

1. [support.ca.com](http://support.ca.com) から利用可能な GEN09184003E.zip ファイルをダウンロードし解凍します。
2. 以下の URL から `wsc_java15.jar` ファイルをダウンロードします。  
[http://sfdc-wsc.googlecode.com/files/wsc\\_java15.jar](http://sfdc-wsc.googlecode.com/files/wsc_java15.jar)
3. インストールプロセスを完了する予定の CA Clarity アプリケーション サーバ上の `<Clarity インストール ディレクトリ>/runtime/lib` ディレクトリに `wsc_java15.jar` ファイルをコピーします。
4. CA Clarity アプリケーション サーバ上の `<Clarity インストール ディレクトリ>/runtime/lib` ディレクトリに `avee.1.3.0.0125.jar` ファイルをコピーします。

.jar ファイルには以下のファイルが含まれます。

`.jar` ファイル `iX` インストール スクリプト。

`install.bat`

Windows インストール スクリプト。

`install.xml`

Ant インストール スクリプトには以下のファイルが含まれます。

`install.sh`

Unix インストール スクリプト。

`package`

更新されたファイルのディレクトリ。

`tools`

サポートファイルのディレクトリ。

### CA Clarity PPM サービスの停止

1. Clarity システム管理 (NSA) にログインします。
2. CA Clarity PPM アプリケーション サービス (app) およびバックグラウンド サービス (bg) を停止します。



## アドインのインストール

以下の手順により、オブジェクト、レポート、およびデータベースに更新をインストールします。

**重要:** このアドインをインストールする前に、CA Clarity PPM インストールをバックアップし、必要に応じてアプリケーションを前のバージョンに復元できるようにします。アドインをインストールするとき、プロジェクトなどの CA Clarity PPM 標準オブジェクトのカスタマイズされたビューを上書きできます。ユーザの組織でビューをカスタマイズしている場合は、アドインを実稼働環境にインストールする前に、テスト環境でインストールを実施し、結果を注意深く検討する必要があります。アドインをインストールすると、アンインストールすることはできません。

1. .jar ファイルを抽出したディレクトリでコマンド プロンプト ウィンドウを開き、次のコマンドを発行します。  
`install`
2. Enter キーを押します。
3. 画面上の指示に従って、アドインのインストールを実行します。

## CA Clarity PPM から CA Agile Vision または CA Product Vision サンドボックス環境にアクセスするための URL を変更します

CA Vision アドインのインストール後、バックグラウンド サービスを開始する前に、CA Clarity PPM が Salesforce.com へのアクセスに使用する URL を編集できます。既定の URL は通常的环境を参照します。CA Agile Vision または CA Product Vision 用のサンドボックス環境を作成し、アドインからサンドボックス環境にアクセスできるように URL を変更できます。

**注:** URL を変更するのは、CA Vision サンドボックス環境にアクセスする場合だけにしてください。サンドボックス環境を作成していない場合、URL を変更する必要はありません。

詳細については、Salesforce.com の「ヘルプ & トレーニング」を参照してください。

### サンドボックス環境にアクセスするために URL を変更する方法

1. 一時ディレクトリを作成します(例: C:¥clarity\_temp)。
2. CA Clarity PPM のインストール ディレクトリ下の lib ディレクトリにある aveesetting.jar ファイルを一時ディレクトリにコピーします。
3. aveesetting.jar ファイルを以下のコマンドでアンパックします。  
jar -xvf aveesetting.jar
4. avee.properties ファイルを編集して、既定の URL を変更します。変更前の URL:  
avee.endpoint=https://login.salesforce.com/services/Soap/u/18.0  
変更後の URL:  
avee.endpoint=https://test.salesforce.com/services/Soap/u/18.0
5. .properties ファイルを保存します。
6. jar ファイルを以下のコマンドで再作成します。  
jar -cvf aveesetting.jar avee.properties
7. aveesetting.jar ファイルを、CA Clarity PPM のインストール ディレクトリ下の lib ディレクトリにコピーします。
8. 一時ディレクトリ(c:¥clarity\_temp)を削除します。

## CA Clarity PPM での CA Vision アドインの設定

インストール、および、サンドボックス環境用の URL 変更(オプション)の後、CA Clarity PPM で CA Vision アドインを設定します。

次の手順に従ってください:

1. Clarity システム管理(NSA)にログインします。
2. CA Clarity PPM アプリケーション サービス(app)およびバックグラウンド サービス(bg)を再起動します。
3. CA Clarity PPM アプリケーションにログインし、管理ツールにアクセスします。
4. [CA Clarity Studio]メニューから[オブジェクト]を選択します。
5. プロジェクト オブジェクト名を使用してフィルタします。  
オブジェクトリストが表示されます。
6. プロジェクト オブジェクトをクリックして開きます。

7. コンテンツメニューから[表示]をクリックします。[プロジェクトのプロパティ]ビューの[レイアウト:編集]をクリックします。  
プロパティレイアウトが表示されます。
8. CA Vision プロジェクト プロパティを展開し、[統合ステータス]セクションを展開します。
9. [統合ステータス]セクションの[プロパティとレイアウト]アイコンをクリックします。  
セクションのプロパティが表示されます。
10. [保存して終了]をクリックします。  
プロパティレイアウトが表示されます。
11. [戻る]をクリックします。  
オブジェクト定義ビューが表示されます。
12. [発行]をクリックしてビューを発行します。  
確認のプロンプトが表示されます。
13. [はい]をクリックします。

## CA Clarity PPM の設定

以下の手順では、CA Agile Vision または CA Product Vision とリンクするための CA Clarity PPM のセットアップ方法を説明します。

### CA Clarity PPM を設定する方法

1. CA Clarity PPM にログインし、[管理ツール]にアクセスします。
2. [一般設定]メニューから[CA Vision セットアップ]を選択します。  
管理者用設定ページが表示されます。
3. [CA Vision Login Info]セクションの以下のフィールドに入力します。

#### ユーザ名

システム管理者の権限で CA Agile Vision にログインするためのユーザ名を定義します。

#### パスワード

システム管理者の権限で Agile Vision にログインするためのパスワードを定義します。

### セキュリティトークン

ログインが失敗した場合、または信頼されていないネットワークから CA Clarity PPM サーバを実行している場合に、サーバの識別に使用するセキュリティトークンを定義します。このトークンは、SalesForce.com の [Personal Setup] ページから取得できます。詳細については、SalesForce.com のオンライン ヘルプを参照してください。

### CA Vision URL

CA Clarity PPM が CA Product Vision 内の要件リストにアクセスするために使用する URL を指定します。

4. [プロキシサーバ情報] セクションの以下のフィールドに入力します。

#### ホスト名

プロキシサーバのホスト名を定義します。

#### ポート

プロキシサーバのポートを定義します。

#### ユーザ名

プロキシサーバのユーザ名を定義します。

#### パスワード

プロキシサーバのパスワードを定義します。

5. [保存] をクリックします。

## CA Clarity PPM からデータ転送をセットアップする方法

データ転送をセットアップするには、関連付けを行った CA Clarity PPM プロジェクトで CA Agile Vision または CA Product Vision 製品の詳細を指定する必要があります。データ転送をセットアップするための方法を以下に示します。

- [CA Clarity PPM から製品またはリリースを作成します \(P. 25\)](#)。
- [CA Clarity PPM から既存の CA Agile Vision または CA Product Vision 製品およびリリースにリンクします \(P. 22\)](#)。
- [CA Clarity PPM から既存の製品内でリリースを作成します \(P. 24\)](#)。
- [CA Agile Vision タスクタイプを CA Clarity PPM 請求コードにマップします。\(P. 27\)](#)
- [CA Clarity PPM タスクを CA Product Vision 要件にリンクします。\(P. 29\)](#)
- [CA Clarity PPM から CA Product Vision 内のロールを更新します。\(P. 30\)](#)

CA Clarity PPM と CA Agile Vision または CA Product Vision の間でプロジェクトをリンクする際は、以下のルールが適用されます。

- 製品 ID およびリリース名を指定し、リリース ID を空白にした場合、指定した製品の新しいリリースが作成されます。
- 製品と、リリース ID およびリリース名の両方を指定した場合、リリース名は無視され、リリース ID を使用して、既存の製品とリンクされます。
- 製品またはリリースを作成すると、CA Clarity PPM プロジェクトの説明が製品またはリリースの説明として追加されます。スーパー ユーザはこの説明を変更できます。変更した説明は CA Clarity PPM によって上書きされません。
- すべてのフィールドを空白にすると、同期ジョブが失敗し、CA Agile Vision での新規作成またはリンクは行われません。

**ベスト プラクティス:** CA Clarity PPM プロジェクトを CA Agile Vision または CA Product Vision にリンクする場合は、以下を確認します。

- 工数タスクの自動作成のオプションがオフになっている。
- 現在、CA Clarity PPM プロジェクトにタスクが存在しない。

## 既存の CA Vision 製品およびリリースへのリンク

既存の CA Vision リリースにリンクするには、CA Clarity PPM プロジェクトで製品 ID およびリリース ID を指定します。製品リリースまたはマスターリリースにリンクすることができます。マスターリリースにリンクすると、マスターリリースに割り当てられているすべてのユーザストーリーおよびタスクを CA Clarity PPM 内で表示できます。

### CA Clarity PPM から既存の CA Vision 製品およびリリースにリンクする方法

1. CA Clarity PPM で、CA Vision 製品に関連付けるプロジェクトを開きます。  
プロジェクトのプロパティが表示されます。
2. [CA Vision にリンク済み]チェック ボックスをオンにし、[保存]をクリックします。
3. コンテンツ メニューから[CA Vision]をクリックします。  
CA Vision のプロパティ ページが表示されます。
4. 以下のフィールドに入力します。

#### CA Vision マスターリリース ID

既存のマスターリリースのリリース ID を定義します。この値は、このプロジェクトを CA Agile Vision または CA Product Vision 内の既存のマスターリリースにリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

**注:** マスターリリースの代わりに製品リリースにリンクする場合は、このフィールドを空欄にしておきます。

**ソース:** CA Agile Vision または CA Product Vision の[マスターリリースの詳細]ページの[マスターリリース ID]フィールド。

#### CA Vision 製品 ID

CA Agile Vision または CA Product Vision の既存製品の製品 ID を定義します。この値は、CA Clarity PPM プロジェクトを既存の製品にリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

**ソース:** CA Agile Vision または CA Product Vision の[製品の詳細]ページの[製品 ID]フィールド。

### CA Vision リリース ID

CA Agile Vision または CA Product Vision の既存リリースのリリース ID を定義します。この値は、CA Clarity PPM プロジェクトを既存のリリースにリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の [リリース詳細] ページの [リリース ID] フィールド。

注: 次のフィールドを空欄にしておきます: [CA Vision 製品名]、[CA Vision リリース名]、および [製品プレフィクス]。

5. 変更結果を提出します。

CA Vision 製品同期ジョブが実行されると、CA Clarity PPM の以下のフィールドに値が自動的に入力されます。

### CA Vision 製品名

製品名が表示されます。この値は、CA Agile Vision または CA Product Vision から自動的に取得されます。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の [製品の詳細] ページの [製品名] フィールド。

### CA Vision リリース名

Agile Vision のリリース名が表示されます。この値は、CA Agile Vision から自動的に取得されます。

ソース: CA Agile Vision の [リリース詳細] ページの [リリース名] フィールド。

### 製品プレフィクス

Agile Vision 製品での、ユーザストーリーおよびタスクの一意のプレフィクスが表示されます。

ソース: Agile Vision の [製品の詳細] ページの [製品プレフィクス] フィールド。

## 既存の CA Vision 製品内でのリリースの作成

既存の CA Agile Vision または CA Product Vision 製品内でリリースを作成するには、CA Clarity PPM プロジェクトで製品 ID およびリリース名を指定します。

リリース ID、製品名、および製品プレフィックスの値は定義しません。

### 既存の CA Vision 製品内でリリースを作成する方法

1. CA Clarity PPM で、プロジェクトを開き、このプロジェクトを CA Vision に関連付けます。それには、[CA Vision にリンク済み]チェックボックスをオンにし、[保存]をクリックします。

プロジェクトのプロパティが表示されます。

2. コンテンツメニューから[CA Vision]をクリックします。

CA Vision のプロパティページが表示されます。

3. 以下のフィールドに入力します。

#### CA Vision 製品 ID

CA Agile Vision または CA Product Vision の既存製品の製品 ID を定義します。この値は、CA Clarity PPM プロジェクトを既存の製品にリンクするために使用されます。リンクが正常に確立されると、このフィールドは表示専用になります。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[製品の詳細]ページの[製品 ID]フィールド。

#### CA Vision リリース名

作成する新しい CA Agile Vision リリースの名前を定義します。

注: 次のフィールドを空欄にしておきます: [CA Vision リリース ID]、[CA Vision 製品名]、および[製品プレフィクス]。

4. 変更結果を提出します。

CA Vision 製品同期ジョブが実行されると、CA Clarity PPM の以下のフィールドに値が自動的に入力されます。

#### CA Vision リリース ID

CA Agile Vision または CA Product Vision リリース ID が表示されます。この値は、CA Agile Vision または CA Product Vision から自動的に取得されます。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[リリース詳細]ページの[リリース ID]フィールド。



### CA Vision 製品名

製品名が表示されます。この値は、CA Agile Vision または CA Product Vision から自動的に取得されます。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[製品の詳細]ページの[製品名]フィールド。

### 製品プレフィクス

CA Agile Vision または CA Product Vision 内の製品に割り当てられた一意のプレフィクスが表示されます。

ソース: CA Agile Vision または CA Product Vision の[製品の詳細]ページの[製品プレフィクス]フィールド。

## CA Clarity PPM からの新規プロジェクトおよびリリースの作成

CA Clarity PPM 内でプロジェクトを作成し、CA Agile Vision または CA Product Vision 内でリリースを作成するには、CA Clarity PPM プロジェクトで製品名およびリリース名を指定します。

### データ転送用に CA Clarity PPM プロジェクトをセットアップする方法

1. CA Clarity PPM にログインします。
2. [ポートフォリオ管理]メニューから[プロジェクト]を選択します。  
プロジェクトリスト ページが表示されます。
3. [新規]をクリックして新しいプロジェクトを作成し、必要なフィールドに値を入力して、[保存]をクリックします。  
プロパティ ページが表示されます。
4. [CA Vision にリンク済み]チェック ボックスをオンにし、[保存]をクリックします。  
2 つの CA Vision オプションがコンテンツ メニューに表示されます
5. コンテンツ メニューから[CA Vision]をクリックします。  
CA Vision のプロパティ ページが表示されます。
6. 以下のフィールドに入力します。

### CA Vision 製品名

作成する新しい CA Vision 製品の名前を定義します。

### CA Vision リリース名

作成する新しい CA Vision リリースの名前を定義します。

### 製品プレフィクス

ユーザストーリーおよびタスクの製品名に追加する、一意のプレフィクスを定義します。製品の作成後は、プレフィクスを変更できません。

**制限:** 6 文字

**注:** 次のフィールドを空欄にしておきます: [CA Vision 製品 ID]および[CA Vision リリース ID]。

## 7. 変更結果を提出します。

CA Vision プロジェクト同期ジョブが実行されると、CA Clarity PPM の以下のフィールドに値が自動的に入力され、CA Agile Vision または CA Product Vision では新しい製品とリリースが作成されます。

### CA Vision 製品 ID

CA Vision の製品 ID が表示されます。この値は、CA Agile Vision または CA Product Vision から自動的に取得されます。

**ソース:** CA Agile Vision または CA Product Vision の[製品の詳細]ページの[製品 ID]フィールド。

### CA Vision リリース ID

CA Vision のリリース ID が表示されます。この値は、CA Agile Vision または CA Product Vision から自動的に取得されます。

**ソース:** CA Agile Vision または CA Product Vision の[リリース詳細]ページの[リリース ID]フィールド。

## CA Agile Vision タスクタイプの CA Clarity PPM 請求コードへのマッピング

CA Clarity PPM で請求コードをプロジェクトタスクに割り当てている場合、これらの請求コードを CA Agile Vision のタスクタイプにマッピングできます。タスクタイプを請求コードにマッピングすると、リンクされたタスクの実績値に適切な請求コードを割り当てることができます。

プロジェクト マネージャが、タスクタイプを請求コードにマッピングし、[CA Agile Vision タスクタイプの自動入力]プロセスを実行する場合、以下のグローバル アクセス権とインスタンス アクセス権が必要です。

- タスクタイプおよび請求コード マッピング - 作成
- タスクタイプおよび請求コード マッピング - すべて編集
- プロセス開始

### ベスト プラクティス:

- 請求コードのマッピングを誤って削除した場合、[CA Agile Vision タスクタイプの自動入力]プロセスを手動で実行すると、削除したマッピングを復元できます。

詳細については、「CA Clarity PPM 管理ガイド」を参照してください。

- タスクタイプは、1 つの請求コードにしかマップできません。CA Agile Vision でタスクにタスクタイプが定義されていない場合は、CA Clarity PPM で既定の請求コードを割り当てることができます。

### タスクタイプを請求コードにマップする方法

1. CA Clarity PPM で、リンクされたプロジェクトを開きます。

プロジェクトのプロパティが表示されます。

2. コンテンツ メニューから[CA Vision タスクタイプ マッピング]をクリックします。

CA Vision のタスクタイプおよび請求コード マッピング ページが表示されます。

3. [新規]をクリックします。

マッピングの作成ページが表示されます。

4. 以下のフィールドに情報を入力し、提出します。

#### タスクタイプ

タスクの CA Agile Vision タスクタイプを定義します。

### 請求コード

同じタスクに CA Clarity PPM の請求コードを定義します。

## CA Clarity PPM タスクの CA Product Vision 要件へのリンク

CA Clarity PPM のタスクを CA Product Vision の要件にリンクすることができます。複数のタスクを単一の要件にリンクすることができ、複数の要件を単一のタスクにリンクすることができます。

### 前提条件

リンクする CA Product Vision 要件は CA Clarity PPM から選択できる必要があります。どんな要件でも、追加した後は必ず *CA Vision 製品同期*ジョブを実行する必要があります。

### CA Clarity PPM のアクセス権

以下の CA Clarity PPM アクセス権を保持している必要があります。

- マップされたタスク- 作成
- マップされたタスク- すべて編集
- CA Product Vision 要件- 作成
- CA Product Vision 要件- すべて編集
- 要件とタスクのマッピング- 作成
- 要件とタスクのマッピング- すべて編集

### タスクを要件にリンクする方法

1. CA Clarity PPM で、リンクされたプロジェクトを開きます。  
プロジェクトのプロパティが表示されます。
2. [タスク]タブをクリックし、[WBS]サブタブに移動します。
3. タスクを探し、[Mapped Requirements]列のアイコンをクリックします。  
[Mapped Task: Properties]ページが表示され、コンテンツメニューの [Requirement and Task Mapping List]オプションが選択されます。
4. [新規]をクリックします。  
[Create Requirement and Task Mapping]ページが表示されます。
5. [参照]アイコンをクリックし、タスクにマップする CA Product Vision 要件を選択します。
6. [保存]をクリックします。  
要件が一覧表示された [Mapped Task: Properties]ページが表示されます。

注: 要件をタスクに追加すると、要件リストには **CA Product Vision** 要件情報が自動入力されます。リストが空の場合は、ページをリフレッシュします。

7. 以下のいずれかを実行します。
  - タスクに別の要件をマップするには、[新規]をクリックします。
  - WBSに戻るには、要件の[Task WBS]アイコンをクリックします。

次回 **CA Product Vision** 要件とタスクのマッピング同期ジョブを実行すると、リンクされたタスクおよび要件に関する情報で **CA Product Vision** が更新されます。

## CA Clarity PPM からの CA Product Vision 内のロールの更新

CA Clarity PPM から CA Product Vision にロールとロール階層をダウンロードできます。ロールをダウンロードすると、CA Clarity PPM 内のすべてのロールを CA Product Vision 内で利用できるようになります。

CA Clarity PPM のロールで CA Product Vision のロールを更新するには、CA Product Vision ロール同期ジョブを実行します。

## Agile Vision プロジェクトの統合ステータスの確認

CA Clarity PPM プロジェクトを CA Agile Vision にリンクしたら、CA Agile Vision プロパティ ページで統合ステータスを確認します。統合が成功している場合、CA Agile Vision と CA Clarity PPM 間でデータが転送されています。統合が成功していない場合、以下のような原因が考えられます。

- CA Agile Vision 管理設定 ページ上の Salesforce.com または CA Agile Vision の認証情報が間違っている。
- Salesforce.com ネットワークが停止している。
- 入力した CA Agile Vision 製品 ID またはリリース ID が間違っている。
- 作成しようとしている CA Agile Vision プロジェクトがすでに存在する。
- CA Agile Vision リリースが、すでに別の CA Clarity PPM プロジェクトにリンクされている。

いずれかの情報の入力間違っている場合、正しい値を再入力して、CA Agile Vision 製品同期ジョブを実行し、統合を再度試行してください。

### CA Agile Vision 統合ステータスを確認する方法

1. CA Clarity PPM でプロジェクトを開き、コンテンツ メニューから [CA Vision] をクリックします。

CA Vision のプロパティ ページが表示されます。

2. 以下のフィールドの情報を確認します。

#### 同期ステータス

CA Vision プロジェクト同期ジョブのステータスが表示されます。ステータスは、成功、保留、失敗のいずれかです。

#### 同期の詳細情報

前回実行した日時などのジョブ ステータスの詳細が表示されます。ジョブが失敗した場合、発生したエラーの詳細が表示されます。

## ジョブ管理

### ジョブ サマリ

CA Clarity Agile Enterprise アドインをインストールすると、CA Clarity PPM で CA Agile Vision プロジェクト同期ジョブと CA Agile Vision タイムシート同期ジョブが実行可能になり、アクティブになります。デフォルトでは、これらのジョブは、事前に定義された間隔(毎日午前 9 時)に自動的に実行されるようにスケジュールされています。これらのジョブの既定のスケジュールは、ユーザの組織のニーズに合うように変更できます。また、ジョブをただちに実行して、CA Agile Vision から CA Clarity PPM へデータを移動できます。

CA Clarity PPM からのジョブのスケジュールおよび実行方法の詳細については、「CA Clarity PPM 管理ガイド」を参照してください。

### 制限

CA Agile Vision 同期ジョブは、以下の CA Clarity PPM ジョブと同時に実行できません。

- タイムシートのポスト
- タイム スライス付け
- アーンド バリュース合計の更新
- アーンド バリュース履歴の更新



## CA Vision 製品同期ジョブ

CA Vision 製品同期ジョブでは以下を同期します。

- プロジェクトとリソース (CA Clarity PPM から CA Agile Vision へ)
- タスク (CA Agile Vision から CA Clarity PPM へ)

### 製品同期の詳細

CA Clarity PPM では、このジョブにより CA Vision サブページの以下のフィールドが自動入力されます。

- CA Vision 製品名
- CA Vision リリース名

CA Agile Vision では、このジョブにより、リリース開始日とリリース日が、CA Clarity PPM のプロジェクト開始日/終了日で置換されます。

**注:** 多数のプロジェクトの内 1 つでも失敗すると、製品同期ジョブは「失敗」ステータスを報告します。「失敗」ステータスは、対処が必要なプロジェクトが少なくとも 1 つあることを管理者に通知します。このステータスは、すべてのプロジェクトが失敗したことを意味するわけではありません。対処が必要なプロジェクトとその理由を確認するには、CA Clarity PPM の同期ジョブのログ ページを参照します。

### リソース同期の詳細

CA Agile Vision では、リソースが既存の Salesforce.com ユーザでない限り、ジョブによってユーザが作成されます。

以下のフィールドが CA Clarity PPM から取得されます。

- 名
- 姓
- 電子メール
- ユーザ名

### タスク同期の詳細

CA Clarity PPM では、CA Agile Vision のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクの情報を基に、プロジェクトのタスク WBS の以下がジョブによって自動入力されます。

- 要約タスク
- 詳細タスク
- 未スケジュール タスク

### CA Agile Vision タイムシート同期ジョブ

CA Agile Vision タイムシート同期ジョブにより、CA Agile Vision のタスク作業ログを基に CA Clarity PPM の以下が自動入力されます。

- タスクの実績
- タイムシート上で指定された日付の、リソースの作業時間と ETC

タイムシート同期ジョブを実行するたびに、CA Clarity PPM でタイムシートに行った変更は上書きされます。ただしこれは、タイムシートのステータスがオープンである場合に限りです。

**ベスト プラクティス:** CA Agile Vision ですべての更新を行うと、次回タイムシート同期ジョブの実行時に、CA Clarity PPM タイムシートで変更が更新されます。CA Agile Vision タスクを CA Clarity PPM タイムシート内で更新する必要はありません。

---

## CA Product Vision 要件とタスク マッピング同期ジョブ

このジョブは、CA Clarity PPM プロジェクトタスクと CA Product Vision 要件の関係を同期します。データは CA Clarity PPM から CA Product Vision および CA Product Vision から CA Clarity PPM へ流れます。

### 制限

## CA Product Vision ロール同期ジョブ

このジョブは、CA Clarity PPM 内で定義されたすべてのロールを CA Product Vision にダウンロードします。

### パラメータ

#### Overwrite CA Product Vision Roles

ジョブの実行時に CA Product Vision 内の既存のロールを上書きできるかどうかを指定します。現在のロールを上書きするには、チェックボックスをオンにします。



# 第 3 章: JIRA と CA Agile Vision の統合

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[JIRA と Agile Vision の統合方法 \(P. 37\)](#)

[CA Agile Vision の問題インポート条件の設定 \(P. 49\)](#)

[JIRA および CA Agile Vision 間の問題の同期 \(P. 50\)](#)

[JIRA と CA Agile Vision 間の問題の同期 \(P. 51\)](#)

[JIRA の CA Agile Vision との統合の無効化 \(P. 52\)](#)

## JIRA と Agile Vision の統合方法

CA Agile Vision と JIRA を統合する前に JIRA のバージョン 3.13.5 以上、またはバージョン 4.1.2 以上がインストールされ実行されている必要があります。

JIRA を CA Agile Vision と統合するには、以下の手順に従います。

1. [JIRA サーバに CA Agile Vision プラグインをインストールします。](#) (P. 38)
2. [JIRA 用に CA Agile Vision を設定します。](#) (P. 39)
3. CA Agile Vision を有効にして JIRA と統合します。  
詳細については、CA Agile Vision のオンライン ヘルプを参照してください
4. 以下の追加手順を完了します。
  - [CA Agile Vision 問題同期サービス スケジュールを設定します。](#) (P. 41)
  - [CA Agile Vision リスナを設定します](#) (P. 43)。
  - [CA Agile Vision プロジェクトを JIRA プロジェクトにマップします。](#) (P. 44)
  - [JIRA 属性を CA Agile Vision 属性にマップします。](#) (P. 45)
  - [JIRA 属性値を CA Agile Vision 属性値にマップします。](#) (P. 47)

## Agile Vision プラグインの JIRA へのインストール

<JIRA インストール ディレクトリ>/atlassian-jira/WEB-INF/lib ディレクトリ内に ca-agile-jira-integration-1.1.jar ファイルが存在する場合は、JIRA サーバを起動する前にこのファイルを削除します。

### Agile Vision プラグインの JIRA へのインストール方法

1. support.ca.com から利用可能な GEN09183445E.zip ファイルをダウンロードし解凍します。
2. 以下の URL から wsc\_java15.jar ファイルをダウンロードします。  
[http://sfdc-wsc.googlecode.com/files/wsc\\_java15.jar](http://sfdc-wsc.googlecode.com/files/wsc_java15.jar)
3. JIRA サーバ上の <JIRA インストール ディレクトリ>/atlassian-jira/WEB-INF/lib ディレクトリに wsc\_java15.jar ファイルをコピーします。
4. プラグイン ca-agile-jira-integration-1.3.jar を <JIRA インストール ディレクトリ>/atlassian-jira/WEB-INF/lib ディレクトリにコピーします。
5. JIRA を再起動します。

## wi12-BAPL--JIRA から CA Agile Vision または CA Product Vision サンドボックス環境にアクセスするための URL を変更します

CA Vision アドインのインストール後、JIRA が Salesforce.com へのアクセスに使用する URL を編集できます。既定の URL は通常的环境を参照します。CA Agile Vision または CA Product Vision 用のサンドボックス環境を作成し、アドインからサンドボックス環境にアクセスできるように URL を変更できます。

**注:** URL を変更するのは、CA Vision サンドボックス環境にアクセスする場合だけにしてください。サンドボックス環境を作成していない場合、URL を変更する必要はありません。

詳細については、Salesforce.com の「ヘルプ & トレーニング」を参照してください。

### サンドボックス環境にアクセスするために URL を変更する方法

1. JIRA を停止します。
2. 一時ディレクトリを作成します (例: C:¥jira\_temp)。
3. JIRA のインストール ディレクトリ下の lib ディレクトリにある ca-agile-jira-integration-1.3.jar ファイルを一時ディレクトリにコピーします。
4. ca-agile-jira-integration-1.3.jar ファイルを以下のように解凍します。  
`jar -xvf ca-agile-jira-integration-1.3.jar`
5. jiraintegration.properties ファイルを編集して、既定の URL を変更します。  
変更前の URL:  
`avee.endpoint=https://www.salesforce.com/services/Soap/u/18.0`  
変更後の URL:  
`avee.endpoint=https://test.salesforce.com/services/Soap/u/18.0`
6. .properties ファイルを保存します。
7. jar ファイルを以下のコマンドで再作成します。  
`jar -cvf ca-agile-jira-integration-1.3.jar`
8. ca-agile-jira-integration-1.3.jar ファイルを、JIRA のインストール ディレクトリ下の lib ディレクトリにコピーします。
9. 一時ディレクトリ (c:¥jira\_temp) を削除します。
10. JIRA を再起動します。

## JIRA 用の [Agile Vision 設定] の設定

相互接続できるように、JIRA プラグインの CA Agile Vision 組織詳細を設定します。設定の保存後、CA Agile Vision への接続をテストします。CA Agile Vision 組織への接続成功またはエラーのいずれかを示すメッセージが表示されます。接続エラーは以下の理由で発生します。

- 間違った CA Agile Vision 認証情報
- ネットワークの問題

### JIRA プラグインの設定方法

1. 管理者として JIRA へログインします。
2. [管理] をクリックします。  
[管理] ページが表示されます。

3. [CA Agile Vision]メニューから[設定]をクリックします。

CA Agile Vision の設定ページが表示されます。

4. 以下の CA Agile Vision 組織詳細を入力します。

#### ユーザ名

システム管理者の権限で CA Agile Vision にログインするためのユーザ名を定義します。

#### パスワード

システム管理者の権限で CA Agile Vision にログインするためのパスワードを定義します。

#### セキュリティトークン

ログインが失敗した場合、または信頼されていないネットワークから JIRA サーバが実行されている場合に、サーバの識別に使用するセキュリティトークンを定義します。このトークンは、Salesforce.com の[Personal Setup]ページから取得できます。詳細については、Salesforce.com のオンライン ヘルプを参照してください。

#### プロキシ サーバ ホスト名

プロキシ サーバのホスト名を定義します。

#### プロキシ サーバ ポート

プロキシ サーバのポートを定義します。

#### プロキシ サーバ ユーザ名

プロキシ サーバのユーザ名を定義します。

#### プロキシ サーバ パスワード

プロキシ サーバのパスワードを定義します。

5. [保存]をクリックします。



## CA Agile Vision 問題同期サービス スケジュールの設定

JIRA 管理者として、一定の間隔で CA Agile Vision 問題同期サービスを実行し、CA Agile Vision と JIRA 間で問題が同期されるように設定します。また、[同期ジョブを今すぐ実行]オプションも使用できます。ジョブ実行の進捗を表示するには、JIRA\_HOME ディレクトリにある `atlassian-jira.log` ファイルを参照してください。

**注:** 問題同期サービススケジュールを設定すると、同期ジョブはすぐに実行されます。また、[同期ジョブを今すぐ実行]オプションは一時的に無効になります。ジョブが完了すると、このオプションは再び有効になります。

### CA Agile Vision 問題同期サービスが一定の間隔で実行されるように設定する方法

1. JIRA で[管理]をクリックします。  
[管理]ページが表示されます。
2. [システム]メニューから[サービス]をクリックします。  
[サービス]リスト ページが表示されます。
3. [サービスの追加]セクションで、以下のフィールドに入力します。

#### 名前

問題同期サービス名を定義します。

**値:** CA Agile Vision 問題同期サービス

#### クラス

問題同期サービス クラスを定義します。

**値:** `com.ca.agile.integration.jira.job.AgileVisionIssueSyncService`

#### 遅延

各同期サービス実行時間の間遅延を分単位で定義します。推奨される間隔は 360 分です。

**既定:** 1 分(サービスは毎分実行されます)

4. [サービスの追加]をクリックします。

## CA Agile Vision 問題同期サービスの即時実行

JIRA 管理者として、CA Agile Vision 問題同期サービスを随時実行して、CA Agile Vision から更新された問題を表示できます。別のジョブ インスタンスが同時に実行されている場合、このリクエストはスキップされます。また、メッセージが JIRA\_HOME ディレクトリにある `atlassian-jira.log` ファイルに表示されます。

[問題同期サービス] ページには、ジョブ ステータス (実行中、完了)、リクエスト タイプおよびジョブ 開始時間が表示されます。ジョブ ステータスは、随時リフレッシュできます。ジョブ が失敗すると、エラー メッセージが表示されます。これらのエラー メッセージに基づいて、エラーに対処できます。エラーが発生するのは、通常 CA Agile Vision への接続を確立できない場合、または同期ジョブがすでに実行されている場合です。

### CA Agile Vision 問題同期サービスを随時実行する方法

1. JIRA で [管理] をクリックします。  
[管理] ページが表示されます。
2. [CA Agile Vision] メニューから [同期ステータス] をクリックします。  
[CA Agile Vision 問題同期ステータス] ページが表示されます。
3. [同期ジョブを今すぐ実行] をクリックします。
4. ログ ファイルに移動して、ジョブの進捗を表示します。

## CA Agile Vision リスナの設定

JIRA または CA Agile Vision で問題が削除される場合、同期ジョブを実行するとその問題が他のアプリケーションからも削除されるように CA Agile Vision リスナを設定します。

リスナを随時削除して、JIRA から CA Agile Vision へのすべての更新を停止できます。

### CA Agile Vision リスナを設定する方法

1. JIRA で[管理]をクリックします。  
[管理]ページが表示されます。
2. [システム]メニューから[リスナ]をクリックします。  
[リスナ]リスト ページが表示されます。  
[リスナの追加]セクションで、以下のフィールドに入力します。

#### 名前

CA Agile Vision リスナの名前を定義します。

**値:** CA Agile Vision 問題リスナ

#### クラス

リスナのクラスを定義します。

**値:** com.ca.agile.integration.jira.listener.AgileVisionIssueListener

3. [追加]をクリックします。

## JIRA プロジェクトの CA Agile Vision 製品へのマップ

JIRA プロジェクトを CA Agile Vision 製品にマップして、問題を接続し、追跡します。また、これらのマッピングを希望に応じて、どの時点でも削除できます。

JIRA で CA Agile Vision と同期されるプロジェクトを削除すると、CA Agile Vision にインポートされた関連問題はそのままですが、それ以降 JIRA と同期されなくなります。しかし、ユーザ ストーリーからそれらの問題を表示したり、それらの問題にリンクすることはできます。

問題は JIRA から削除されます。

### JIRA プロジェクトを CA Agile Vision プロジェクトにマップする方法

1. JIRA で[管理]をクリックします。  
[管理]ページが表示されます。
2. [CA Agile Vision]メニューから[プロジェクト マッピング]をクリックします。  
[CA Agile Vision JIRA プロジェクト マッピング]ページが表示されます。
3. [プロジェクト マッピングの追加]セクションの以下のフィールドに値を入力します。

#### CA Agile Vision 製品

JIRA プロジェクトにマップする CA Agile Vision 製品を定義します。

#### JIRA プロジェクト

CA Agile Vision 製品にマップする JIRA プロジェクトを定義します。

4. [マッピングの追加]をクリックして、マッピングをリストに追加します。

## JIRA 属性の CA Agile Vision 属性へのマップ

JIRA 属性を CA Agile Vision 属性にマップして、JIRA の問題と CA Agile Vision の問題を接続します。これらのマッピングは、希望に応じて、どの時点でも編集または削除できます。

以下の属性タイプをマップできます。

- テキスト(たとえば、タイトル)
- 無制限のテキスト(たとえば、説明)
- 数(たとえば、ポイント)
- 単一選択(たとえば、優先度)
- 複数選択(たとえば、テーマ)。

また、任意のカスタム JIRA フィールドを CA Agile Vision 属性にマップできます。

### JIRA 属性を CA Agile Vision 属性にマップする方法

1. JIRA で[管理]をクリックします。  
[管理]ページが表示されます。
2. [CA Agile Vision]メニューから[プロジェクト マッピング]をクリックします。  
マップされたプロジェクトが一覧表示された[CA Agile Vision JIRA プロジェクト マッピング]ページが表示されます。
3. マッピング テーブルの[操作]列で、そのために属性をマップする CA Agile Vision 製品および JIRA プロジェクトの隣の[属性マッピング]をクリックします。  
既定ではマップされる属性が表示された[CA Agile Vision JIRA プロジェクト 属性マッピング]ページが表示されます。
4. [編集]をクリックして、残りの属性をマップします。  
[プロジェクト属性マッピング]ページで、CA Agile Vision 属性および JIRA フィールドのリストがリフレッシュされます。
5. 各 CA Agile Vision 属性について、ドロップダウンから一致する JIRA フィールドを選択し、[保存]をクリックします。

以下のテーブルで、デフォルトでマップされる属性について説明します。

---

CA Agile Vision 属性	利用可能な JIRA 問題フィールド
--------------------	--------------------

---

CA Agile Vision 属性	利用可能な JIRA 問題フィールド
タイトル	要約
ステータス	ステータス
優先度	優先度
予期される結果	なし
回避策	なし
実際の結果	なし
影響を受けるリリース	影響を受けるバージョン

## JIRA 属性値の CA Agile Vision 属性値へのマップ

複数の値が属性に利用可能な場合、属性をマップした後に、JIRA 属性値を CA Agile Vision 属性値にマップできます。

以下では、同期ジョブの実行後に、CA Agile Vision での属性値の変更が JIRA にどのように反映されるかについて説明します。

- CA Agile Vision で属性値の名前が変更されると、名前が変更された値が JIRA に表示されます。
- CA Agile Vision で属性値が削除されると、削除された値は JIRA に表示されません。以前マップされた値も表示されません。マップされた値がなかったために指定されたレコードが同期できなかったことを示すメッセージが、同期ジョブ ログ ファイルに表示されます。

### JIRA 属性値を CA Agile Vision 属性値にマップする方法

1. [CA Agile Vision 属性マッピング] ページ上で、値をマップする CA Agile Vision 属性および JIRA フィールドの隣の [値のマッピング] をクリックします。  
[CA Agile Vision JIRA プロジェクト属性値マッピング] ページが表示されます。
2. 各 CA Agile Vision 属性値について、ドロップダウンから一致する JIRA フィールド値を選択し、[保存] をクリックします。

以下のテーブルに、デフォルトでマップされる属性を表示します。

CA Agile Vision 属性値	JIRA フィールド値
ステータス:	ステータス:
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計画済み</li> <li>■ 進行中</li> <li>■ 完了</li> <li>■ クローズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オープン</li> <li>■ 進行中</li> <li>■ 再開済み</li> <li>■ 解決済み</li> <li>■ クローズ</li> </ul>

CA Agile Vision 属性値	JIRA フィールド値
<p>優先度:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 非常に高い</li> <li>■ 高</li> <li>■ 中</li> <li>■ 低</li> <li>■ 非常に低い</li> <li>■ 非優先</li> </ul>	<p>優先度:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ブロック</li> <li>■ 重要</li> <li>■ メジャー</li> <li>■ マイナー</li> <li>■ わずか</li> <li>■ なし</li> </ul>
<p>影響を受けるリリース: 選択した製品の影響を受けるリリース。</p>	<p>影響を受けるバージョン: JIRA 管理者によって定義される影響を受けるバージョン</p>
<p>修正リリース: 選択した製品の修正リリース。</p>	<p>修正バージョン: JIRA 管理者によって定義される修正バージョン</p>



## CA Agile Vision の問題インポート条件の設定

JIRA 管理者は、フィルタ条件を設定して、CA Agile Vision にインポートする問題のタイプを定義できます。この条件に基づいて、JIRA の問題は CA Agile Vision バックログに追加されます。

たとえば、フィルタ条件として以下を設定した場合：

- 影響を受けるバージョン：リリース A
- 修正バージョン：リリース B およびリリース C

同期ジョブが実行された後、Agile Vision にインポートされた以下のみが表示されます。

- リリース A に影響する JIRA の問題
- リリース B または C に影響する修正

### CA Agile Vision のバグ インポート条件を設定する方法

1. JIRA の[CA Agile Vision JIRA プロジェクト マッピング]ページ上で、マップされた JIRA プロジェクトの隣の[インポート条件]をクリックします。

[CA Agile Vision JIRA プロジェクトのインポート条件]ページが表示されます。

2. 以下のフィルタ条件から選択します。

#### ステータス

CA Agile Vision へインポートする問題ステータスを定義します。

#### 優先度

CA Agile Vision へインポートする問題優先度を定義します。

#### 影響を受けるバージョン

CA Agile Vision へインポートする問題によって影響を受ける JIRA プロジェクトのバージョンを定義します。

#### 修正バージョン

CA Agile Vision へインポートする修正によって影響を受ける JIRA プロジェクトのバージョンを定義します。

3. [保存]をクリックします。

## JIRA および CA Agile Vision 間の問題の同期

JIRA で事前定義済みの以下の情報に基づいて、JIRA と CA Agile Vision の間で新規の問題と既存の問題の変更を同期できます。

- バグと呼ばれる JIRA 問題タイプ。
- CA Agile Vision および JIRA プロジェクト、属性、および値マッピング。
- 問題同期サービス スケジュール

JIRA で問題を削除すると、同期ジョブの実行後、その問題は CA Agile Vision から削除されます。また、その逆の場合も同様です。

CA Agile Vision と JIRA の間で問題の担当者を同期します。CA Agile Vision 内のリンクされた問題を作成または更新し、その担当者を選択します。JIRA 内の [Issue Navigator] ページ上の [Assignee] 列に同じ担当者が反映されます。CA Agile Vision 内で問題に関して担当者が行う更新または作成したコメントのすべてが、JIRA の問題の詳細に反映されます。また、その逆の場合も同様です。担当者の電子メール アドレスを使用して、CA Agile Vision および JIRA の間で同じ担当者が同期されます。

担当者は電子メール アドレスを使用して CA Agile Vision と JIRA の間でリンクされます。一致する電子メール アドレスが見つかった場合、担当者はリンクされています。

一致する電子メール アドレスが見つからなかった場合、担当者はリンクされていません。

同じ電子メール アドレスで複数の JIRA ユーザが見つかった場合は、エラーがログにレポートされます。いったん競合が解決されれば、担当者はリンクされます。

## JIRA と CA Agile Vision の間の問題の同期

### 問題を JIRA から CA Agile Vision に同期する方法

1. JIRA で、CA Agile Vision 製品にマップされるプロジェクト用の問題を作成します。
2. JIRA で、問題同期サービス ジョブをただちに、または事前定義された間隔で実行します。
3. CA Agile Vision のバックログ ページで、JIRA プロジェクトにマップされた製品をフィルタリングして抽出します。

JIRA の問題は、バックログにリスト表示されます。今この問題を変更するか、マップされた製品に関連付けられたユーザ ストーリーからこの問題にリンクします。

詳細については、「CA Agile Vision ユーザ ガイド」を参照してください。

### 問題を CA Agile Vision から JIRA に同期する方法

1. CA Agile Vision で、JIRA プロジェクトにマップされた製品の問題を作成します。
2. JIRA で、問題同期サービス ジョブをただちに、または事前定義された間隔で実行します。
3. JIRA で、CA Agile Vision 製品にマップされている JIRA プロジェクトをフィルタリングして抽出し、問題を見つけます。

## JIRA の CA Agile Vision との統合の無効化

CA Agile Vision との接続をすべて無効にするには、スケジュール済みの問題同期サービスジョブを削除します。ジョブを削除すると、CA Agile Vision とのすべての問題の同期が無効になります。

スケジュール済みの問題同期サービスジョブの削除後に、[CA Agile Vision]メニューから[同期ステータス]を選択して、ジョブを手動で実行できます。

### スケジュール済みの問題同期サービスジョブを削除する方法

1. JIRA で[管理]をクリックします。  
[管理]ページが表示されます。
2. [システム]メニューから[サービス]をクリックします。  
[サービス]リストページが表示されます。
3. 問題同期サービスジョブの隣の[削除]リンクをクリックします。

# 第 4 章: Quality Center と CA Agile Vision の統合

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Quality Center と CA Agile Vision の統合方法 \(P. 53\)](#)

[Quality Center テストケースの CA Agile Vision への統合 \(P. 61\)](#)

## Quality Center と CA Agile Vision の統合方法

HP Quality Center を CA Agile Vision と統合するには、以下の手順に従います。

- [HP Quality Center 用の Quality Center プラグインをインストールします \(P. 54\)](#)。
- [CA Agile Vision 用の Quality Center プラグインを設定します \(P. 55\)](#)。
- CA Agile Vision を有効にして Quality Center と統合します。  
詳細については、CA Agile Vision のオンライン ヘルプを参照してください

## Quality Center プラグインのセットアップの前提条件

Quality Center プラグイン パッケージをインストールする前に、以下のセットアップを行っていることを確認します。

- HP Quality Center バージョン 10.00 がインストールされていること。
- CA Agile Vision Winter 2010 Edition が利用可能であり、実行されている。
- Microsoft .Net Framework バージョン 2.0 以降がインストールされていること。
- HP Quality Center からダウンロードされた Open Test Architecture Client

注：Quality Center プラグイン パッケージのインストール先に予定している同じシステム上に、OTA Client をインストールします。プラグインのインストール後、そのプラグインの実行にこのクライアントが必要です。

Quality Center プラグインは、Quality Center のインストール先と同じシステム、または別のシステムにインストールできます。

## Quality Center プラグイン パッケージのインストール

### Quality Center プラグイン パッケージをインストールする方法

1. Quality Center プラグインのインストール先として予定しているシステムにログインします。
2. support.ca.com から利用可能な GEN09183850E.zip ファイルをダウンロードし解凍します。
3. HP Quality Center Setup\_20110719\_01(x86).exe ファイル用の CA Agile Vision プラグインをダブルクリックします。

HP Quality Center 用 CA Agile Vision プラグインのセットアップ インストール ウィザードが開きます。

4. インストール フォルダのパスを指定し、ウィザードの手順に従って、プラグインをインストールします。

インストールが完了すると、確認メッセージが表示されます。

## CA Agile Vision 用の Quality Center プラグインの設定

Quality Center プラグインのインストール後、CA Agile Vision と通信するには、Quality Center プラグインを設定します。プラグインの設定後、CA Agile Vision への接続をテストします。接続が成功すると、Quality Center および CA Agile Vision のパスワードは暗号化され、設定ファイルに格納されます。これらのパスワードを随時変更するには、TestConnection.bat ファイルを使用します。このツールはパスワードを暗号化し、暗号化されたパスワードを格納します。

### Quality Center プラグインの設定方法

1. Quality Center プラグインのインストール先フォルダで、AvQcIntegration.exe.config ファイルを見つけます。
2. この設定ファイルをテキスト エディタで開きます。
3. Quality Center の以下のパラメータを設定します。

#### Quality Center User Name

Quality Center アカウントにログインするための管理者ユーザ名を定義します。管理者は、Quality Center 内の複数のプロジェクトに対するアクセス権を持っている必要があります。

#### Quality Center Password

Quality Center アカウントにログインするための暗号化された管理者パスワードを表示します。

#### Quality Center URL

Quality Center の URL を表示します。

例: `http://myqa1234:8088/qcbin`

#### Quality Center Database Type

Quality Center によって使用されるデータベースのタイプ (MSSQL または Oracle) を定義します。

#### AV QC Integration Partner SforceService

Quality Center プラグインが通信できる、Salesforce.com の Web サービス エンドポイント URL を定義します。

既定値: `https://login.salesforce.com/services/Soap/u/19.0`

既定値を変更して、テスト目的でサンドボックス URL が参照されるようにすることができます。

例: `https://test.salesforce.com/services/Soap/u/19.0`

4. CA Agile Vision の以下のパラメータを設定します。

**CA Agile Vision ユーザ名**

CA Agile Vision にログインするための管理者ユーザ名を定義します。管理者は、CA Agile Vision 内の複数のプロジェクトに対するアクセス権を持っている必要があります。

**CA Agile Vision パスワード**

CA Agile Vision にログインするための暗号化された管理者パスワードが表示されます。

**CA Agile Vision セキュリティトークン**

CA Agile Vision サーバのセキュリティトークンを定義します。

**CA Agile Vision パッケージ プレフィックス**

CA Agile Vision のパッケージプレフィックスを定義します。CA Agile Vision の以降のバージョンにアップグレードしない場合は、既定のプレフィックス値を変更しないでください。

ソース: Salesforce.com の [Installed Packages] ページの [Namespace Prefix] フィールド値。

値: ca\_agile

**プロキシ URL**

プロキシ認証用のプロキシサーバ URL を定義します。この値が必要になるのは、プロキシサーバを使用してインターネットにアクセスしている場合のみです。

**プロキシドメイン**

プロキシ認証用のプロキシサーバドメインを定義します。この値が必要になるのは、プロキシサーバを使用してインターネットにアクセスしている場合のみです。

**プロキシユーザ名**

プロキシ認証用のプロキシサーバユーザ名を定義します。この値が必要になるのは、プロキシサーバを使用してインターネットにアクセスしている場合のみです。

**プロキシパスワード**

プロキシ認証用のプロキシサーバパスワードを定義します。この値が必要になるのは、プロキシサーバを使用してインターネットにアクセスしている場合のみです。



5. Quality Center プラグイン インストール フォルダで、TestConnection.bat ファイルをダブルクリックして、Quality Center と CA Agile Vision の間の接続をテストします。

Quality Center および CA Agile Vision のパスワードの入力を促すプロンプトが表示されます。入力するパスワードは暗号化され、設定ファイルに格納されます。

## Quality Center から CA Agile Vision サンドボックス環境にアクセスするための URL を変更します

サンドボックス環境を参照するように、Salesforce.com へのアクセスに Quality Center が使用する URL を編集します。既定の URL は通常的环境を参照します。CA Agile Vision 用のサンドボックス環境を作成し、プラグインからサンドボックス環境にアクセスできるように URL を変更できます。

**注:** URL を変更するのは、CA Agile Vision サンドボックス環境にアクセスする場合だけにしてください。サンドボックス環境を作成していない場合、URL を変更する必要はありません。

詳細については、Salesforce.com の「ヘルプ & トレーニング」を参照してください。

### サンドボックス環境にアクセスするために URL を変更する方法

1. Quality Center プラグインのインストール先フォルダで、AvQcIntegration.exe.config ファイルを見つけます。
2. この設定ファイルをテキスト エディタで開きます。
3. 「AV QC Integration Partner SforceService」パラメータ内の既定の URL を変更します。変更前の URL:  
`https://login.salesforce.com/services/Soap/u/19.0`  
変更後の URL:  
`https://test.salesforce.com/services/Soap/u/19.0`

## スケジュールされた Windows タスクとして実行するプラグインの設定

Quality Center プラグインをインストールし、CA Agile Vision 用に設定した後に、スケジュールされた Windows タスク(たとえば、毎日、毎週、毎月実行する)として実行するプラグインをセットアップできます。スケジュールされたタスクを実行するときは常に、HP Quality Center 用 CA Agile Vision プラグインのコンソールが開き、バックグラウンド同期サービスが開始されます。このバックグラウンド サービスによって、Quality Center プロジェクトおよびテストケース データが CA Agile Vision に転送されます。タスクが完了すると、コンソールは自動的に閉じられます。

Quality Center プラグインをスケジュールされた Windows タスクとして設定するには、Windows で定期的に行うプログラムとして、AvQcIntegration.exe を選択します。この Windows タスクのスケジューリング パラメータは、タスクの作成後、随時変更できます。毎日 2 回以上データを同期するには、[反復タスク] オプションを使用します。

**注:** Quality Center から CA Agile Vision へのデータの転送をすべて停止するには、スケジュールされた Windows タスクを無効にします。

スケジュールされたタスクの作成の詳細については、Microsoft Windows のドキュメントを参照してください。

### スケジュールされた Windows タスクとして実行する Quality Center プラグインの設定方法

1. デスクトップで、[スタート]メニューをクリックし、[設定]メニューから[コントロール パネル]を選択します。  
[コントロール パネル]ウィンドウが開きます。
2. [タスク]を選択します。  
[タスク]ウィンドウが表示されます。
3. [スケジュールされたタスクの追加]アイコンをダブルクリックします。  
タスク ウィザードが表示されます。
4. このウィザードで[次へ]をクリックし、Windows で実行するプログラムとして AvQcIntegration.exe を選択します。
5. ウィザードの指示に従って、以下を指定します。
  - タスクの名前
  - タスク実行のスケジュール

- タスクの開始日時
  - タスクをスケジュールするユーザのユーザ名およびパスワード
6. [終了]をクリックします。

## Quality Center プラグインのサンプル設定ファイル

Quality Center および CA Agile Vision の認証情報の値が含まれる設定ファイルの例を以下に示します。

```
<setting name="qualityCenter_userName" serializeAs="String" >
<value>qualityCenter_userName</value>
</setting>
<setting name="qualityCenter_password" serializeAs="String">
<value>qualityCenter_password</value>
</setting>
<setting name="qualityCenter_url" serializeAs="String">
<value>http(s)://hostname(IP):port/qcbin</value>
</setting>
<setting name="qualityCenter_databaseType" serializeAs="String">
<value>MSSQL or Oracle</value>
</setting>
<setting name="av_qc_integration_partner_SforceService" serializeAs="String">
<value>https://login.salesforce.com/services/Soap/u/19.0</value>
</setting>
<setting name="agileVision_userName" serializeAs="String">
<value>agileVision_userName</value>
</setting>
<setting name="agileVision_password" serializeAs="String">
<value>agileVision_password</value>
</setting>
<setting name="agileVision_securityToken" serializeAs="String">
<value>agileVision_securityToken</value>
</setting>
<setting name="agileVision_packagePrefix" serializeAs="String">
<value>agileVision_packagePrefix</value>
</setting>
<setting name="proxy_url" serializeAs="String">
<value>proxy_url</value>
</setting>
<setting name="proxy_domain" serializeAs="String">
<value>proxy_domain</value>
</setting>
<setting name="proxy_userName" serializeAs="String">
<value>proxy_userName</value>
</setting>
<setting name="proxy_password" serializeAs="String">
<value>proxy_password</value>
</setting>
```

## Quality Center テスト ケースの CA Agile Vision への統合

同期ジョブは、スケジュールされた Windows タスクとして実行する Quality Center プラグインのセットアップ時に、ユーザが定義した一定の間隔で実行されます。このジョブによって、Quality Center のすべてのプロジェクトが CA Agile Vision に同期されます。

CA Agile Vision では、これらのプロジェクトを CA Agile Vision 製品にマップできます。これらのプロジェクト マッピングに基づいて、同期ジョブでは以下のテスト ケース情報も Quality Center から CA Agile Vision に同期されます。

- 最新のステータス
- テスト実行結果
- テスト手順

最初の同期中に、既存のプロジェクト、フォルダ、およびテスト ケースはすべて Quality Center から CA Agile Vision に同期されます。それ以降の同期では、これらのプロジェクト、フォルダおよびテスト ケースへの変更のみが同期されます。

CA Agile Vision で、ユーザストーリーからこれらのテスト ケースをリンクできますが、テスト ケースの編集はできません。

Quality Center で CA Agile Vision と同期されているプロジェクトを削除すると、同期ジョブの実行後、そのプロジェクトは CA Agile Vision でマッピングリストから削除されます。このプロジェクトのデータは同期されなくなります。

Quality Center でテスト ケースを削除すると、次の同期ジョブの実行後、そのテスト ケースが CA Agile Vision から削除されます。CA Agile Vision でユーザストーリーからテスト ケースを削除する場合、そのテスト ケース自体は CA Agile Vision または Quality Center から削除されません。テスト ケースとユーザストーリーの間の関連のみがなくなります。

### Quality Center のテスト ケースを CA Agile Vision へ統合する方法

1. Quality Center で、CA Agile Vision にマップされるプロジェクトにログインします。
2. テスト ケースを作成および実行します。
3. Quality Center プラグインを実行します。

テスト ケースフォルダは CA Agile Vision へインポートされます。



# 付録 A: CA Agile Vision および CA Product Vision への CA Clarity PPM フィールドのマッピング

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[プロジェクトのマッピング](#) (P. 63)

[リソースのマッピング](#) (P. 64)

[タスクのマッピング](#) (P. 66)

[タスク作業ログのマッピング](#) (P. 68)

## プロジェクトのマッピング

CA Clarity PPM プロジェクトを CA Agile Vision または CA Product Vision 製品にリンクしている場合、これらの製品を CA Clarity PPM 内で表示して作業することができます。プロジェクトのリンク後、CA Clarity PPM でプロジェクトの日付を更新すると、CA Agile Vision 内でリリース日が自動的に更新されます。

CA Agile Vision の製品およびリリースフィールドと CA Clarity PPM のプロジェクトフィールドのマッピングの関係を以下の表に示します。

CA Agile Vision フィールド	CA Clarity PPM フィールド
製品名	CA Vision 製品名
製品 ID	CA Vision 製品 ID
リリース名	CA Vision リリース名
リリース ID	CA Vision リリース ID
マスタ リリース名	CA Vision マスタリリース名
開始日 (リリース)	開始日 (プロジェクト)
リリース日 (リリース)	終了日 (プロジェクト)

### リソースのマッピング

統合された CA Clarity PPM プロジェクトのプロジェクト チームにリソースを追加すると、Salesforce.com の既存のユーザ アカウントを持たないユーザが新規アカウントとして作成され、CA Agile Vision ユーザとして追加されます。既存の Salesforce.com ユーザ アカウントを持つリソースは、CA Agile Vision ユーザとして追加され、CA Clarity PPM プロジェクトにリンクされます。

リソースに対して Salesforce.com アカウントがすでに存在するかどうかの判別には、リソースの従業員番号と電子メール アドレスが使用されます。

新規ユーザは、電子メールによる通知を受け取ります。この通知には、ユーザ名としての CA Clarity 電子メール アドレスと、Salesforce.com へのログインに必要な一時パスワードが記載されています。ユーザ名が Salesforce.com 内にすでに存在する場合、電子メール アドレスの末尾にタイム スタンプが追加されません。

ユーザはこの情報でログインして CA Agile Vision にアクセスし、パスワードを変更します。CA Agile Vision ユーザであり、CA Clarity PPM プロジェクトにリンクされている一意の各 Salesforce.com アカウントに、CA Agile Vision Enterprise Edition のライセンスが必要です。

### リソースのマッピング

CA Clarity PPM と CA Agile Vision 間のリソース フィールドのマッピング関係を以下の表に示します。

CA Agile Vision フィールド	CA Clarity PPM フィールド
名	名
姓	姓
電子メール アドレス	電子メール
ユーザ名	日付が追加された電子メール アドレス (例: <code>firstname.lastname@ca.com.030610</code> )



## リソースの削除

リンクしたリソースが CA Clarity PPM で削除された場合、そのリソースは、CA Agile Vision の統合プロジェクトからも削除されます。それらのリソースは、CA Clarity PPM にリンクされたユーザ ストーリーおよびタスクに時間を記録したり、割り当てたりすることはできなくなります。これらのユーザは、CA Agile Vision 内で非アクティブにすることができます。

## タスクのマッピング

タスクで構成されるユーザストーリーおよび問題を CA Agile Vision 内で作成し、それらをスプリントおよびリリース(製品、マスタ、またはその両方)にそれらを割り当てます。対応するタスクは、リンクされた CA Clarity PPM プロジェクト内に自動的に作成されます。CA Clarity PPM プロジェクトが CA Agile Vision 内のマスタリリースにリンクされている場合、マスタリリースに割り当てられているユーザストーリーだけが WBS に表示されます。マスタリリースに関連付けられているすべての製品は、トップレベルに表示されます。

CA Clarity PPM プロジェクト タスクのワークブレイクダウンストラクチャは、以下のように構築されます。

- 製品名およびリリース名はトップレベルの要約タスクとして表示され、その下にスプリント、ユーザストーリー、または問題が重ねて表示されます。
- ユーザストーリーが製品リリースに割り当てられておらず、マスタリリースに割り当てられている場合、トップレベルの要約タスクは製品名として表示されます。
- ユーザストーリーがマスタリリースに割り当てられておらず、製品リリースに割り当てられている場合、トップレベルの要約タスクはリリース名として表示されます。
- 割り当てられるユーザストーリーは、スプリントごとにグループ化されます。
- 割り当てられないユーザストーリーは、未スケジュールタスクとしてグループ化されます。
- タスクは、関連付けられるユーザストーリーごとにグループ化されます。
- 問題は、スプリントまたは未スケジュールのタスクの下に、ユーザストーリーと同じレベルでグループ化されます。

CA Clarity PPM プロジェクトが CA Agile Vision 内のマスタリリースにリンクしている場合、WBS 階層は以下のようになります。

製品 - リリース  
    スプリント  
        ユーザストーリー  
            タスク

CA Clarity PPM プロジェクトが CA Agile Vision 内の製品リリースにリンクしている場合、WBS 階層は以下のようになります。

スプリント

ユーザストーリー

タスク

## タスクの更新

CA Agile Vision 内でタスクに加えたすべての変更は、CA Clarity PPM 内で自動的に反映されます。たとえば、タスクの担当者が変更されると、その変更は CA Clarity PPM でも反映されます。CA Agile Vision で見積もり時間と担当者を削除すると、CA Clarity PPM のタスクでも ETC と担当者が削除されます。

## タスクの削除

CA Agile Vision のスプリントを削除すると、統合されたスプリントタスクが CA Clarity PPM で削除されます。このスプリントタスクのサブタスクは、以下に従って再度グループ化されます。

- 親ユーザストーリーがスプリントに割り当てられていない場合、サブタスクは未スケジュールタスクにグループ化されます。
- 親ユーザストーリーが新しいスプリントに割り当てられている場合、サブタスクはその新しいスプリントタスクにグループ化されます。

CA Agile Vision でタスクの実績値があるユーザストーリーを削除した場合、タスクおよびそのサブタスクは CA Clarity PPM の削除済みタスクグループにロールアップされます。いずれのタスクにも実績値がない場合、ユーザストーリータスクとそのサブタスクは CA Clarity PPM から削除されます。

## タスクのマッピング

CA Agile Vision のスプリント、ユーザストーリー、およびタスクの情報がどのように使用されて、CA Clarity PPM WBS のフィールドおよび値として入力されるかを以下の表に示します。

CA Agile Vision フィールド/値	CA Clarity PPM フィールド/値
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スプリント名</li> <li>■ ユーザストーリー タイトル</li> <li>■ タスク タイトル</li> </ul>	タスク
担当者	割り当て

## タスク作業ログのマッピング

CA Agile Vision フィールド/値	CA Clarity PPM フィールド/値
予想時間	ETC (タスク担当者が存在する場合のみ、CA Clarity PPM 内で取得されます)
計画済み(タスク ステータス)	開始前(タスク ステータス)
進行中(タスク ステータス)	開始済み(タスク ステータス)
クローズ(タスク ステータス)	完了(タスク ステータス)
スプリント開始/終了日	タスク開始/終了日 (タスクがスプリントに割り当てられている場合)
リリース開始/終了日	タスク開始/終了日 (タスクがスプリントに割り当てられていない場合)

## タスク作業ログのマッピング

タスク作業ログまたは仮想ウォールを使用して、CA Agile Vision でタスクに作業時間を入力すると、CA Clarity PPM では以下の更新が行われます。

- 時間を記録するユーザが、[割り当て]ページ上で、リンクされているタスクに担当者として追加されます (CA Clarity PPM タスクに既存の担当者が存在しない場合)。
- 作業時間はタスクの実績値に追加されます。
- 作業時間と残存時間が、CA Clarity PPM 上で、関連リソースのタイムシートの該当する日付に入力されます。

### 作業ログのマッピング

CA Agile Vision タスクの作業ログ情報が CA Clarity PPM のタイムシートにどのようにマッピングされるかを以下の表に示します。

CA Agile Vision 作業ログ	CA Clarity PPM タイムシート
Agile ユーザ名/担当者	リソース名
作業時間	1日単位の記録時間
残存時間	ETC(残作業時間)
作業日	タイムシート期間の日付

CA Agile Vision 作業ログ

CA Clarity PPM タイムシート

タスクタイプ

請求コード

## 作業ログの更新と削除

CA Agile Vision で作業ログを更新するたびに、対応する CA Clarity PPM のタイムシートが更新されます。ただし、タイムシートが提出済みステータスの場合は更新されません。

CA Clarity PPM のタイムシートで時間を取得した後に、CA Agile Vision の作業ログを削除することができます。現在、タイムシートが提出されていない場合は、CA Agile Vision での最新の更新に基づいて更新されます。タイムシートがすでに提出されている場合は、タイムシートの調整が作成されます。



## 付録 B: サードパーティライセンス契約

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Dojo Toolkit 1.3.1](#) (P. 72)

[Ext JS - JavaScript Library](#) (P. 73)

[JSON 1.0](#) (P. 74)

[jquery 1.3.2](#) (P. 75)

## Dojo Toolkit 1.3.1

This product includes Dojo Toolkit 1.3.1 software, which CA has elected to distribute in accordance with the following terms:

Copyright (c) 2005-2009, The Dojo Foundation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Dojo Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



## Ext JS - JavaScript Library

Ext JS - JavaScript Library

Copyright (c) 2006-2010, Ext JS, Inc.

All rights reserved.

[licensing@extjs.com](mailto:licensing@extjs.com)

<http://extjs.com/license>

Open Source License

-----

Ext is licensed under the terms of the Open Source GPL 3.0 license.

<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>

There are several FLOSS exceptions available for use with this release for open source applications that are distributed under a license other than the GPL.

\* Open Source License Exception for Applications

<http://extjs.com/products/floss-exception.php>

\* Open Source License Exception for Development

<http://extjs.com/products/ux-exception.php>

Commercial License

-----

This is the appropriate option if you are creating proprietary applications and you are not prepared to distribute and share the source code of your application under the GPL v3 license. Please visit <http://extjs.com/license> for more details.

OEM / Reseller License

-----  
For more details, please visit: <http://extjs.com/license>.

--

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

## JSON 1.0

This product includes JSON 1.0 software, which CA distributes in accordance with the following terms:

Copyright (c) 2002 JSON.org

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

The Software shall be used for Good, not Evil.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

## jquery 1.3.2

This product includes jquery 1.3.2 software, which CA has elected to distribute in accordance with the following terms:

Copyright (c) 2009 John Resig, <http://jquery.com/>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.